

平成29年度 中国ブロックリーダー研究大会報告



中国ブロック代表
山口県 叶山 雅隆

開催期日・場所



期日：H29. 8. 9(水)～8. 11(日)

場所：山口県スポーツ交流村

参加者：リーダー研究大会(7名) 少年大会(25名)

	山口県	広島県	岡山県	島根県	鳥取県	合計
リーダー会 代表	2名	2名	3名	0名	0名	7名
リーダー育成 担当者	1名	1名	1名	0名	0名	3名
合計	3名	3名	4名	0名	0名	10名

※参加費：無料(日本スポーツ少年団からの補助事業で)

※旅 費：参加者負担

日 程



	内容（共通）・・・少年大会と同一プログラムで実施
1日目	研究協議 「スポーツの楽しさとリーダーの役割」 2日目に実施するACP実践の計画
2日目	（共通）スポーツ活動（マリンスポーツ体験） （共通）スポーツ活動（ACP実践） ACP実践振り返り ディスカッション・発表準備
3日目	（共通）ディスカッションの発表 3日間の振り返り

テーマ



趣旨

昨年度のリーダー研究大会で話し合われたことを発展させる。

「スポーツの楽しさをリーダーとしてどのように伝えるのか」をテーマとして設定した。

- ・「スポーツの楽しさとは？」を理解する
- ・実践を通して「楽しさ」を伝える

リーダーによるACPの実践(企画・運営)

○対象・・・中国ブロック少年大会参加者

○内容・・・ACPの実践

ふりかえり

○参加者の反応

○ACPを実践して

○リーダーが指導するメリット



ACPの実践



実施したACP

- ・言うこと一緒、やること一緒(あまのじゃく)
- ・落とさず捕まえろ
- ・手つなぎ鬼
- ・ドッジボール(丸ドッジ)
- ・シグナルジャンプ



	内容
良かった点	・各リーダーの役割がはっきりしていた。 ・活動前後で、参加者の「心の活性・安定」人数増加
悪かった点	・説明が一方通行 ・円の中心での話し方 ・「なるべく」や「できるだけ」という曖昧な表現を使用

心の安定・活性 案)

A C P 満足度バロメーター (山口県：和田私

ACP(アクティブ・チャイルドプログラム) 満足度バロメーターチェック

事前

あなたの今の気持ちについて答えてください。
次の問いに答え、番号を○でかこんでください。

①

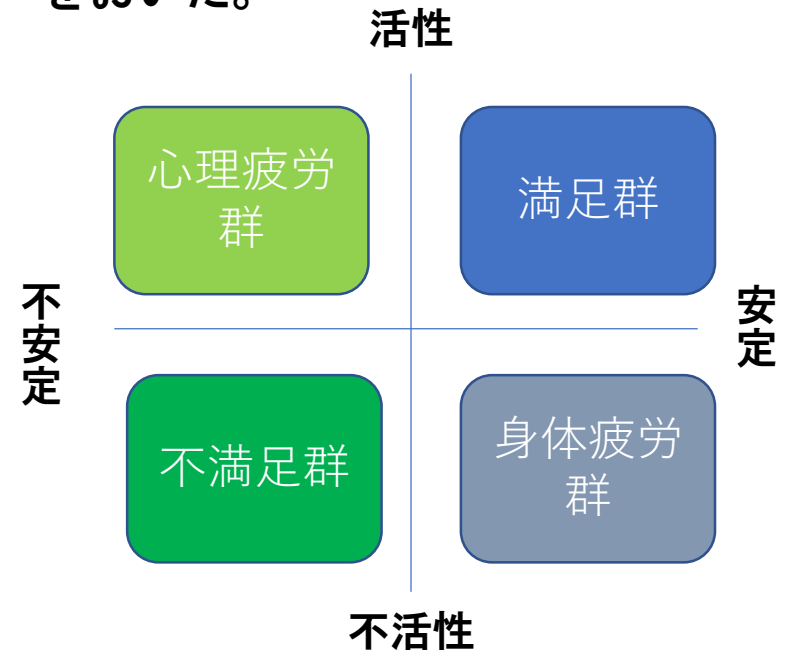
番

	とても	まあまあ	あまり	まったく
1 やる気で生き生きしていますか。	4	3	2	1
2 気持ちがほつらつとしていますか。	4	3	2	1
3 気持ちがのびのびしていますか。	4	3	2	1
4 気分がすっきりしていますか。	4	3	2	1
5 心も体も軽く感じますか。	4	3	2	1
6 明るい気持ちでいますか。	4	3	2	1

	とても	まあまあ	あまり	まったく
7 気持ちがいらいらしていますか。	4	3	2	1
8 気持ちが暗いですか。	4	3	2	1
9 腹立たしいことがありますか。	4	3	2	1
10 くよくよしていますか。	4	3	2	1
11 気持ちがしずんでいますか。	4	3	2	1
12 緊張していますか。	4	3	2	1

A C Pによる心理的な効果
を検証するために、左のよ
うなアンケートをA C Pの
事前事後で行った。

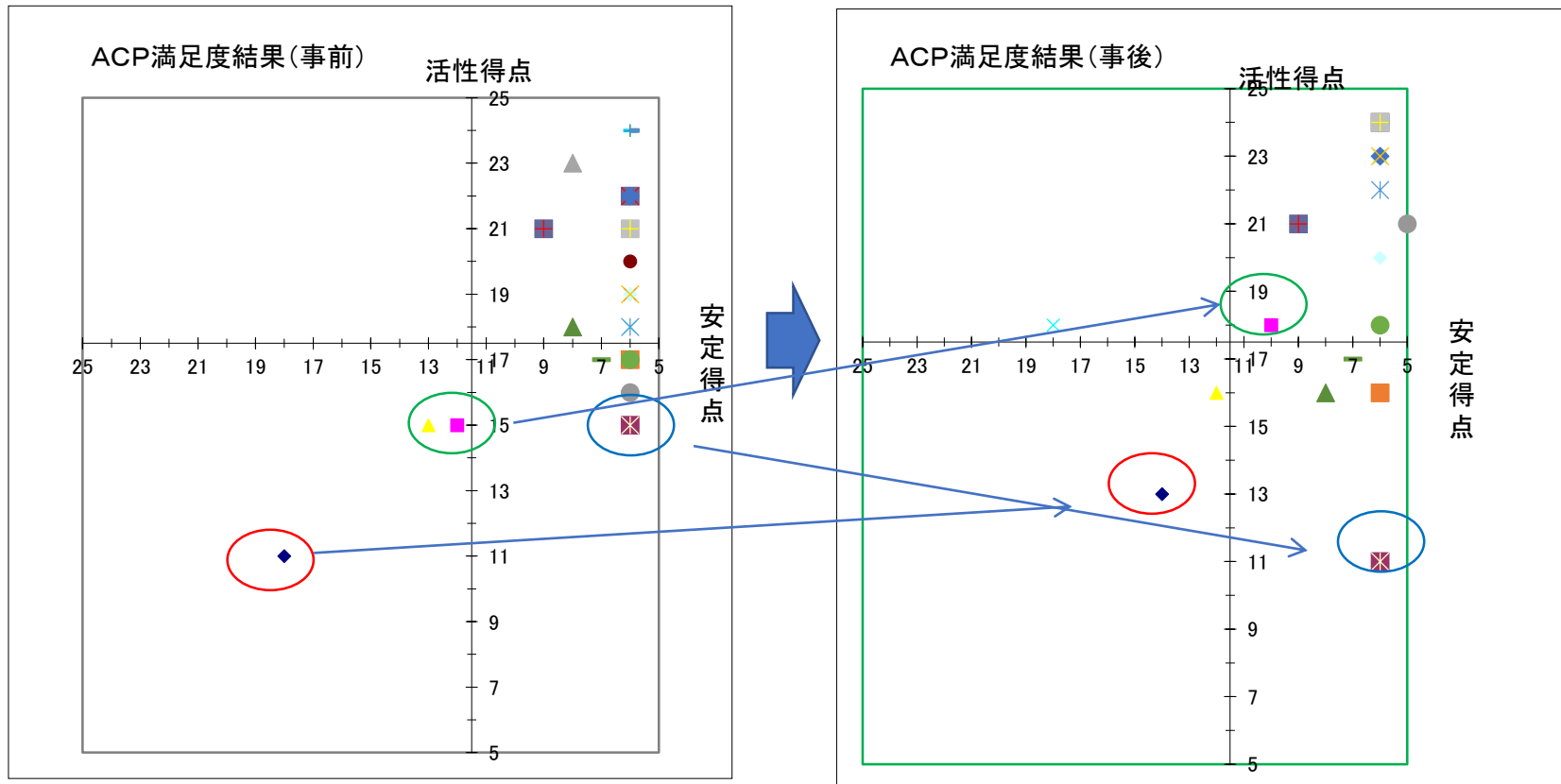
○縦軸に活性得点、横軸に安定得点
をおいた。



ACP満足度バロメーター案)

(山口県：和田私

実施人数 25人



- ・満足群は、実施後にやや増えた。
- ・実施前は、不満足群に3人いたが、実施後は2人となった。
- ・しかし、安定得点は変わらず、活性得点のみが下がった者がいた。暑い時期に走ることが多く、ややハードになって疲れたものと思われる。

スポーツの楽しさをリーダー会の魅力とともに



ACP(レクリエーション)を企画する側の楽しさ

団員とふれあえる楽しさ

- ・仲間づくり(他県交流)
- ・協力し、1つのものができる

・コミュニケーション(団員を知る, 一緒に活動)

スキルを高めていく楽しさ

- ・憧れの人を真似し、成長
- ・何回も失敗、改善することで
できることが増える

指導する楽しさ

- ・やる気を引き出す
- ・遊びたくなる環境づくり
- ・理解してもらえる

プログラミングの楽しさ

- ・新しいレクを知ることができる
- ・展開, 創造

スポーツの楽しさをリーダー会の魅力とともに



スポーツの楽しさ

企画側

- ①遊びたくなる環境づくり
- ②展開, 創造

- ④協力して1つのもの, ことができる
- ⑤団員, リーダーとのコミュニケーション
- ⑥仲間づくり
- ⑦新しいレクを知ることができる

活動側

- ③内容の評価

スポーツの楽しさをリーダー会の魅力とともに



- ①:遊びを考え、やる気を引き出す
→運動に繋げる
- ②:1つの内容に対して様々なバリエーション
- ④, ⑤:年齢差がないため、団員たちと打ち解けやすい
- ⑥, ⑦:スポーツを通じ、全国に友達ができる
- ⑦:活動する側(団員たち)も知らないから楽しめる
→自分の単位団に帰ってしてみたいと思う

リーダー研究大会のつながり



リーダー研究大会の成果と課題

- 平成28年度は、『「リーダー会員の減少」「他県との交流」』の2つのテーマで話し合い、「**スポーツの楽しさをリーダーとしてどのように伝えるのか**」を次のテーマとして設定できたことで、平成29年度は、前年度の課題とふりかえりを活かしたテーマ設定となった。**（継続性）**
- 山口県では、ジュニアリーダースクールのグループディスカッションのテーマに「スポーツの楽しさ」をとりあげ、そのデータを資料とすることができ、協議が深まった。**（提案性）**
- 「スポーツの楽しさ」を目標に、リーダーによるACP実践を通して、リーダー自身が企画するスキルを学ぶ機会となった。このスキルを自分の県に持ち帰ることができた。**（実践力）**
- 参加者の入れ替わりが激しく、発展的な内容にまで深く追究することができなかったが、他県のリーダーが話し合う機会があることは、将来の人材を育てることになる。**（つながり）**